

月形町 議会だより

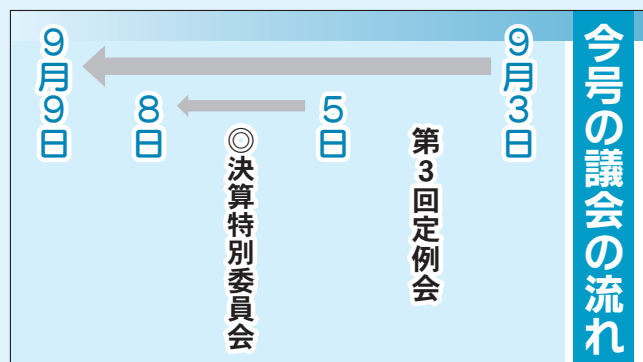
No.
42
2025.11.5



町民歩け歩け大会（10月13日）



第3回定例会	2
決算特別委員会	3
第3回定例会 一般質問	7
まちづくり常任委員会報告	9
議員研修会報告	10
舞い降りて月形／編集後記	12



令和7年 第3回定例会

第3回定例会は、9月3日から9日までの7日間にわたり開催されました。初日の3日には議案13件、報告2件が審議され、すべて原案どおり可決・承認されました。また、令和6年度の各会計決算6件は、決算特別委員会（滝口伸委員長）に付託されました。4日には一般質問が行われ、2名の議員から2項目の質問がされました。5日から8日にかけての決算特別委員会において令和6年度の各会計決算の審査が行われ、その後、本会議において審査結果が報告され、認定されました。最終日には意見案2件、会議案1件が審議され、すべて原案どおり可決・承認されました。

審議内容 質疑応答 (一部抜粋)

令和7年度 一般会計補正予算

ふるさと納税の現況

問 令和6年度末の基金残高と令和7年度当初予算及び今後の見込みは。(滝口)

答 基金残高は9億1583万4000円になっている。

(副町長)

答 寄付額の当初予算は約3億6992万円見込んでいたが、4月から7月までの実績がすでに約5億4448万円になった。10月以降からポイントの廃止と米の先行予約分の発送開始による減少が見込まれるため、令和7年度全体として9億5008万3800円を見込んでの補正予算を計上した。(企画振興課長)

危険鳥獣及び 害虫駆除事業の保険

問 危険鳥獣を駆除中に事故が起きた場合の保険の内容は

(我妻)

答 ヒグマが街中に出没し、緊急銃猟を行うことになって銃を発砲した際に、弾がガラスに当たって割れた場合などの物損事故が起きたときに補償する保険となっている。仮に人身事故がおきた場合は、全国町村会の総合賠償保険の対象で、今回の補正は物損事故を対象とした。(住民課長)

会計年度任用職員の 業務時間

問 教育委員会の会計年度任用職員の業務が半日から、1

日間に変更されたのは。(松田)

答 4月の人事異動により、再任用職員と会計年度任用職員が配置された。再任用職員は通常の職員より勤務日数が少ない現状で、その分を職員全体で分担している。1日にすることによって教育委員会全体の事務量の平準化を図っている。(教育次長)

歓迎
行政視察
ご来町
ありがとうございました

道の駅275つきがた

山形市議会(8月26日)



つきがたdesign,
Tsukigata
LABO

浜中町議会(10月9日)



小児科等オンライン相談
事業、学童保育所、
保育園留学



熊本県美里町議会(9月26日)

月形温泉の
大規模改修等

天塩町議会(10月10日)



決算特別委員長 滝口 伸

議長(大釜)、監査委員(金子)を除く6名で構成

月形町一般会計
介護保険事業特別会計
月形町立病院事業会計

国民健康保険事業特別会計
後期高齢者医療特別会計
農業集落排水事業会計

令和6年度一般会計

スマートフォン 普及拡大奨励

Q 購入補助を受けた高齢者は、実際に公式LINEなどで情報取得をしているのか。また、公式LINEの申請機能では、どのような申請を想定しているのか。

(西山)

A 購入補助は、公式LINE登録または「まんなナビ」導入が条件である。申請機能は、住民票など各種証明の事前予約等を想定。窓口での待ち時間削減につながると考える。(総務課長補佐)

Q 公式LINE登録者数が766件だが、目標値との差は。(我妻)

A 町内の推定登録者は530件ほど。まずは約2000件を目指して周知を

強化する。(総務課長補佐)

エアコン設置工事

Q 庁舎エアコン設置による効果、公共施設のクーリングシエルトとしての利用状況、未設置施設の今後の計画は。(若井)

A エアコンの設置は、猛暑下で職員の体調管理・作業環境に一定の効果があった。クーリングシエルトは開放しているが、利用者は把握していない。

南地区広域集落会館は未設置で設置を検討している。(総務課長/総務係長)

ホームページ システム更新事業

Q 新しいホームページでよく見られるページは。(西山)

A 広報紙、移住定住関連、各種申請(母子関係含む)である。(企画振興課長)

移住定住促進

Q 移住定住PR動画の活用先は。新規就農PR動画と内容の重複があるように感じるが。(我妻)

A YouTubeでの配信に加え、女性の生産年齢人口増を考慮、道内美容室の待合タブレットで配信している。新規就農PRは対象が限定され用途・タイミンが異なるため、検討の上で別制作をした経緯がある。移住定住のPR動画は政策アドバイザーの助言を踏まえ移住者目線で企画した。新規就農PR動画との一体発注は、仕



様差で不適であった。(企画振興課長)

企画振興課長補佐

Q 若者定住事業(商品券配布)は令和6年度で終了か。今後の移住定住策は。(我妻)

A アンケートで「商品券が定住理由にはならない」との結果があり、令和6年度で終了したい。中小企業等振興条例に基づく会議で意見を求め、令和7年度からの施策を検討中である。(企画振興課長)



道の駅・情報発信

Q 道の駅・温泉のデジタルサイネージの発信範囲（イベント・防災・農産品販売）や更新頻度は。（東出）

A 町のPR動画を常時放映し、天気・ニュース・道路情報も配信している。有事には防災情報を即時に発信可能である。イベント情報も定期的に放映できる。農産品の情報発信は今後の検討課題になる。内容の更新頻度の明確な基準はないが、町内施設の掲示と足並みをそろえ運用する。システムの容量制約に配慮しつつ、コンテンツを拡充したい。（企画振興課参事）

福祉施設支援

Q 福祉施設への就労定着支援（各施設50万円）と資格取得支援の継続の有無、終了するとすれば、その理由は。（我妻）

A 就労定着支援は好評だったが、令和6年度で終了した。資格取得補助（上

限5万円／人）は継続している。就労定着支援に代わる人材確保の新たな支援策を検討していく。（保健福祉課長）

予防接種・住民健診

Q 予防接種・住民健診の受診減の要因と今後の対応は。人間ドック対象年齢拡大は。（東出）

A 受診減の要因は、出生数減による乳幼児の予防接種減、子宮頸がんワクチンはフォローアップ接種の伸び悩み、高齢者の胃がん検診は医師判断で当日中止となる例が増えた。対応としては、ピロリ菌検査などオプション検査の拡充や利便性の向上を検討する。人間ドックの対象年齢拡大は国保会計と協議が必要である。

（保健福祉課長補佐）



除雪対策

Q 新しい除雪車の導入で効率は改善したのか。運転者の負担軽減効果はあったのか。また、除雪車両の更新スケジュールは。（若井）

A 機械更新は実施しているが、負担軽減効果などは、オペレーター不足の問題もあり、機械導入だけでは解決しない。（農林建設課長）

A 令和6年度にタイヤシヨベル、令和7年度に除雪専用車2号車を更新する。令和8～9年度に、平成22年購入のダンプ、令和9年度に平成24年購入の歩道用ロータリー車の更新を検討中である。（農林建設課主幹）



新規就農対策

Q 新規就農PR動画はどこで活用したか。効果の実感は。（我妻）

A YouTubeの月形町特設チャンネルで公開し、就農フェア等の場でも活用している。（農林建設課長）

A 新規就農への問合せが着実に増加している。問合せをいただいた方は、ほぼ動画を見ていると捉えている。就農フェアでは、補助制度の説明にも活用している。（農林建設課長／農政係長）

住宅政策

Q 令和6年度に策定した住生活基本計画の見直しで、住宅政策はどう変わるのか。また、定住促進に直接する変更点はあるのか。（我妻）

A 住宅政策に大きな転換はなく、前計画での不足部分の補完や、時代のニーズに合った対応をしていく。

定住促進としては、快適な住まいづくり補助、リフォーム補助などを拡充して対応したい。（農林建設課長）

学校整備

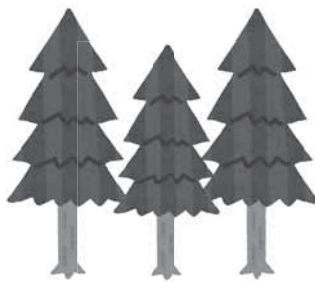
Q 小中学校の老朽への対応として、令和8年度から、急ぐ修繕はあるか。また、その金額は。（東出）

A これまで新校舎建設を見据え修繕を抑制してきたが、方針変更で令和8年度に急ぐ修繕を計上する方針である。小学校は、水道管腐食対策、屋上防水、照明のLED化、キュービクル更新がある。中学校も照明のLED化、暖房や衛生設備の更新があり、そのほか調査の上、年次的に計画して改修する必要がある。概算額を見込むのは難しいが、令和8年度に数億円規模になるのではないかと。（教育次長）

Q 義務教育学校の町内産の杉の利用業務の取扱いは。（我妻）

A 令和5年に円山の杉の間伐材の払下げを受け、町内業者が乾燥・保管中。建設中断で活用は一時保留扱いになっているが、令和7年度も保管委託は継続している。今後の整備方針に応じ活用策を協議する。

(教育委員会主幹)



鉄道跡地

Q 札沼線鉄道跡地のレール・枕木・土地売却などはどのようにしているか。土地の農家向けと一般向けの金額差は。

(若井)

A 令和6年度の鉄道用地売却は、農業者15件、一般6件となっている。

農業者向けは、雑種地4万857㎡(@2.4円)＋山林4万7655㎡(@3.76円)

計8万8517㎡/27万7240円。農業者譲渡は、町で分筆、測量、登記まで行つた。

一般向けは、雑種地5624㎡/34万2547円(@2.4円)＋分筆・測量117㎡/1/2負担を上乗せしている。線路・枕木については、令和7年春に入札を実施し、鉄くず20.66t×4万5650円/94万3129円/レール180.96t×4万5650円/826万824円/電線6.64t×36万3000円の計1161万4293円。枕木2722本×682円/185万6404円であつた。

(企画振興課長)

令和6年度特別会計

国民健康保険事業 特別会計

Q レセプト点検事業の効果は。

(東出)

A レセプトが電子化され、資格等は自動チェ

ック、一方で再審査・月またぎの照合は人手で実施しており、一定の効果は出ている。

(住民課長)

農業集落 排水事業会計

Q 経費回収率が下がっている原因は。

(我妻)

A 人件費の上昇や物価高により維持管理費が増えた影響が大きい。

(生活環境係長)

Q 今年の埼玉県での下水道管破損による事故を受けた大口径管調査の要請など、令和7年度以降の追加対応や負担は。

(我妻)

A 令和7年度に下水道経営戦略を策定し、終末処理場統合の検討も盛り込む予定である。点検・補修は適宜実施しており、大きな事故は発生していない。月形の下水管路は細い管が中心で、大規模陥没につながるリスクは低いと見ている。

(住民課長)

介護保険事業 特別会計

Q 黒字で基金積立とのこと。会計は安定的と考えてよいのか。

(東出)

A 現時点では安定している。ただし、第1号被保険者の減少が速く、将来的には保険料上昇の可能性があるが、必要に応じて基金を活用し、保険料を抑制するなどして安定化したい。

(高齢者支援係長)

町立病院事業会計

Q 医師3名体制になったことや入院患者の動向を考慮して、新たな診療報酬などの導入見込みはあるか。

(東出)

A 令和6年6月に入院基料を変更した。患者構成や次回診療報酬改定を見極め、地域包括ケア病棟等の検討余地はあるが、現時点で具体的な方向性は未定である。

(町立病院事務長)

議会は公開されています

傍聴の方法は二つ

- 1 生の迫力ならば 役場3階の議場の傍聴席で
- 2 モニター中継で気軽に 役場1階の町民サロンで

定例会などの開催予定や傍聴についてお気軽にお問い合わせください

議会事務局 ☎53-2321 (内線372)



お気軽に傍聴してください

決算 総括質疑

※総括質疑

決算特別委員会において、各会計の審議のあと、すべての会計にまたがって総括的に行う質疑。

防災・危機管理

西山

Q 令和6年度の決算で防災対策経費が減額

されているが、大雨などの災害が起こる可能性はある。町民の防災意識の向上を図る上で、自衛隊なども参加する大規模防災訓練を計画しては。

A 10月5日に自衛隊を含む総合防災訓練の実施



を予定している。詳細は現在調整中で、決まり次第、議会・町民へ周知する。

(町長)

除雪体制・人材確保

若井

Q 除雪オペレーター不足が深刻である。今季の体制と対応は。

A 高齢化や他路線への流出で慢性的に人手が不足している。OBへの協力要請、路線見直し、作業環境・待遇改善を実施する。また、検討中だが、GPS導入による稼働把握と作業日報の省力化、将来的にAIで路線最適化も検討する。

A 事業組合と連携して体制維持に努める。

(町長)

今後の施策について

東出

Q 3期目になった町長が述べる「攻めの姿勢」の重点施策は何か。令和6年度決算を見ると、各会計も余裕があるように感じるが令和8年度予算の重点項目は。また、課題解決に部局横断の一元的推進体制を考えた方が良いのでは。

A ふるさと納税の伸長も活用し、切る所は切り、増やす所は増やす積極編成をしたい。

最重点は子どもの学びの環境である。公共施設の見直しもあり難しい時期にある。次年度予算では、優先順位を付けて共生のまちづくりを進める。また、副町長を中心に部局横断の調整をし、意見の違いを踏まえ、連携して進める。

(町長)

月形高校―地域みらい留学・公設塾

妻我

Q 高校の教育振興事業は、人数の関係もあり、今回の決算で減額となつている。月形高校の存続を図るために、地域みらい留学の受入拡大には住まい(寮・下宿等)が必須と考えるが対応は。また、地域みらい留学の道内外の説明会への積極参加は。

A 理想は寮だが財政面の課題がある。現状は1名受入で評価も高く、希望者が続く可能性はある。住まい確保の在り方を庁内で検討を進める。また、本年は対面の説明会は未参加だが、オンライン説明会を継続。今後は可能な範囲で説明会に参加してPRしたい。

(教育長／教育次長)

Q 月形高校生の進学支援と基礎補習などに対応するために、公設塾設置の考えがあるとのことであるが。

A 先日、高校からそのような要望があった。どのような形がよいのかは詰め

ている段階だ。個別最適化を重視し、基礎の学び直しをサポートし、大学進学対策には、オンライン高度授業を活用するなど、一人ひとりの子どもを伸ばす塾にできればと考えてはいる。町として予算や講師確保に関与することになるので、内容を精査の上で実施を検討する。

(教育長)

義務教育学校の実施設計と教育債

松田

Q 決算の教育債(約9,800万円)は義務教育学校の実施設計費か。この部分への国の補助はあるか。

A 実施設計費に伴う起債で、前年度から道への申請・ヒアリングを経て計画どおりの借入れをした。建設中断後も実施設計分は当該年度の事務として執行した。補助の有無については、翌年度に建設へ移行する前提なら補助や過疎債の対象になり得るが、現状の中断状態では対象外との解釈になる。

(副町長／教育次長)

2人の議員からの

一般質問

町政を問いました！

議員 義務教育学校の建設断念について、町長は6月定例会で「関係団体や保護者に直接説明する」と答弁した。しかし、委員や保護者からは「新聞で知った」「町から説明はなかった」との声もある。なぜ直接説明しなかったのか。

義務教育学校建設断念について、なぜ直接説明がなかったのか？

《町長》関係団体や町民への説明が不十分だった

一般質問



東出 善幸 議員

町長 町報は町民への大切な情報源であり、早急に掲載をお願いしたい。そのとおりと考えており、町報への掲載を進める。

町長 関係団体や町民への説明が十分でなかったことは、たいへん反省している。今後は町報などを通じて、段階的に情報を発信し、町民に丁寧に説明していきたいと考えている。

議員 町が立ち上げた委員会であり、人数も限られている。委員個別にでも丁寧に説明する責任があるのではないか。

町長 これまで総合教育会、議や義務教育学校設置審議会・義務教育学校開校準備委員会・地域拠点施設整備審議会の会長や委員長には説明をした。ただ、関係団体の構成員全員を再度招集することは難しかった。



町長は「建設を完全に断念したのではなく、財政状況などを踏まえ建設時期を再検討している」と答弁しました。

議員 教育委員会には保護者等から意見は寄せられているのか。
教育長 直接の意見は寄せられていない。しかし、教育は子育て世代にとって重要な要素であり、学校統合による学びの環境づくりや町の将来を心配する声があるとは認識している。

議員 月形の歴史を伝える拠点である月形樺戸博物館について、今後のPRや新たな取り組みについて伺いたい。
教育長 樺戸集治監の歴史は、町だけでなく北海道全体にとって重要な文化遺産である。来館者は道の駅開業の

歴史の拠点である博物館の新たな取り組みは

《教育長》雑誌・業界紙・SNSを使い、積極的な発信も開始。

一般質問



若井 昭二 議員

効果もあり増加し、利用者の評価も高い状況である。PRについては、雑誌や業界紙での紹介、寄席の開催など受動的なものに加え、町HPやデジタルミュージアム、博物館独自のインスタグラム開設など積極的な発信も始めた。今後は町内の観光資源との連携を深め、町民の意見も取り入れて進めていく。

議員 PRはまだ受動的な面が多いように感じる。観光協会との連携や、説明員による案内を推奨、学生が典獄の役を体験する企画、囚人服の衣装を使った体験サービスなど、来館者参加型の工夫も検討してはどうか。

教育長 ご提案の趣旨を踏まえ、体験型企画や連携強化についても今後の検討課題とする。

議員 博物館における災害時の避難訓練について伺いたい。

教育長 令和4年に消防計画を策定し、火災・地震等



の対応や避難訓練の実施を定めている。年1回の訓練を消防署の協力で行う計画だが、昨年度は未実施であり、反省している。今年度は10月に実施予定で、今後は確実に実施する。

議員 災害はいつ起きるかわからない。消防演習との連携や来館者も巻き込んだ訓練を行うことで、より実効性を高められる。しっかりと取り組んでいただきたい。

の対応や避難訓練の実施を定めている。年1回の訓練を消防署の協力で行う計画だが、昨年度は未実施であり、反省している。今年度は10月に実施予定で、今後は確実に実施する。

議員活動経過報告

スケジュール

太字 … 基本全員参加

月形町議会のほか、監査、月新水道企業団、空知教育センター、岩見沢地区消防事務組合など、それぞれの議会などへ随時担当議員が参加・派遣され、活動を行っています。

8 月		9 月		10 月	
1 日金		1 日月		1 日水	
2 日土		2 日火		2 日木	
3 日日		3 日水	全員協議会	3 日金	
4 日月		第3回定例会 (4・5・8日)		4 日土	
5 日火		4 日木		5 日日	
6 日水		5 日金	決算特別委員会	6 日月	
7 日木		6 日土	月形中学校学校祭	7 日火	広報特別委員会
8 日金		7 日日	決算特別委員会	8 日水	例月出納検査
9 日土		8 日月		月形高等学校に関する地域説明会・懇談会	
10 日日		9 日火	全員協議会	9 日木	全員協議会
11 日月		広報特別委員会		第3回臨時会	
12 日火		10 日水		浜中町議会視察受け入れ	
13 日水	例月出納検査	11 日木	例月出納検査	天塩町議会視察受け入れ	
14 日木		12 日金		10 日金	
15 日金		13 日土	花の里こども園レクリエーション	11 日土	
16 日土		14 日日		12 日日	
17 日日		15 日月		13 日月	
18 日月		16 日火		14 日火	まちづくり常任委員会
19 日火	議会広報研修会	17 日水		15 日水	
20 日水	まちづくり常任委員会	18 日木	月形刑務所受刑者運動会	16 日木	
21 日木		19 日金		17 日金	広報特別委員会
22 日金	議会運営委員会	20 日土	雪の聖母園祭	18 日土	月形小学校運動会
23 日土		21 日日		19 日日	
24 日日		22 日月		20 日月	定期監査 (20日～24日)
25 日月	樺戸神社例大祭	23 日火		広報特別委員会	
26 日火	山形市議会緑政会	24 日水		21 日火	
	行政視察受け入れ	25 日木	美唄駐屯地司令を囲む会	22 日水	
27 日水	月形潔を偲ぶ交流会	26 日金	熊本県美里町議会	23 日木	
28 日木	樺戸監獄物故者追悼式		視察受け入れ	24 日金	空知町村議長会定期総会
29 日金	広報特別委員会	27 日土		月形町PTA連合会研究大会	
30 日土		28 日日		25 日土	
31 日日		29 日月	広報特別委員会	26 日日	
		30 日火		27 日月	
				28 日火	道外行政視察 (福島県・宮城県)
				29 日水	道外行政視察 (福島県・宮城県)
				30 日木	道外行政視察 (福島県・宮城県)
				31 日金	

主体的・自主的に

町の事務調査

報告

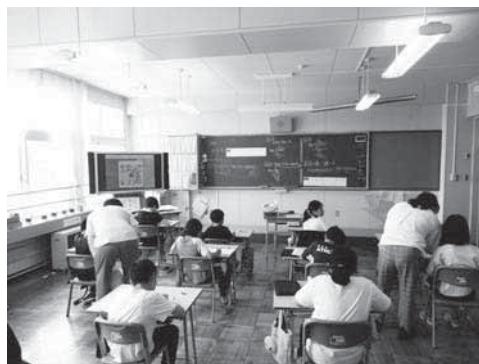
まちづくり常任委員会 所管事務調査報告

● 小学校の現状は？

6月26日
教育委員会

令和9年度から月小に複式学級が

- ・ 今後の児童生徒数の見込み
令和13年度で、月小76名（7年度現在67名）、月中31名（7年度現在42名）↓令和9年度からの月小に複式学級の設置
- ・ 学校からの修繕要望
水回りの整備、照明のLED化、雨漏りの改善等々
↓大規模修繕については町の学校整備の方針が決まり次第となる
- ・ 今後の懸念事項
改修を行っても、今後20年程度で新築の検討が必要



● 衛生センターの状況と

いわ☆ぴか の見学

一般廃棄物処理量は年々減少

- ・ 月形町の衛生センター内の最終処分場
今後30年ほど利用可能
- ・ 今後の懸念事項
施設の老朽化、廃棄物手数料改定の検討等々
- ・ 岩見沢市のいわ☆ぴか
環境にやさしい焼却処理、ごみ発電、資源ごみの選別

● 道の駅275の運営は

8月20日
企画振興課

収支など目で見える資料の提供を

- ・ 開業後の利用人数（令和6年9月～翌7月）
道の駅 月平均3万4543人（最高9月10万2230人、最低2月1万3240人）
- レストラン 月平均3942人（最高9月1万539人、最低12月2211人）
- 売店 月平均3873人（最高9月9016人、最低12月1306人）
- ・ 新支配人より
新メニューの開発、テレビや新聞など媒体を利用したPRを通じて、町民が愛し、自慢できる施設にしたい



7月23日 住民課



会報告

北海道 町村議会議員研修会

人口減少社会を生き抜くために

二地域居住と広域連携で人と仕事を呼び込む

講師



人口戦略会議副議長
増田 寛也 氏

「2年前に出た社人研による出生数のデータは、その減少が15年早まっている」とのことが冒頭の中で述べられました。では

●日常生活の機能を守るために

全国的に人口減少が加速する中、最も深刻なのは人手不足とそれに伴う生活基盤の弱体化です。買い物場が減り、交通手段が失われ、医療機関の維持も難しくなっています。自治体職員の採用も困難となり、住民サービスを担う人材確保が大きな課題です。増田氏は「人口が減っても生活機能を守り抜く仕組みづくりが急務」であると強調しま

した。そこで

●自治体運営の新しい形

増田氏は、定型的な業務はデジタルやAIを活用して効率化し、限られた職員を住民に近い分野へ集中させるべきだと提案しました。その具体策として、①道が一部業務を肩代わりする「垂直補完」、②市町村同士が役割を分担し合う「水平連携」、③民間との協働による不足の補完の三本柱を示しました。一方で

●人口を呼び込む新たな仕組み

人を呼び込む工夫も不可欠です。テレワークの普及を追い風に、二地域居住や「ふるさと住民登録制度」の活用、空き家の活用や季節ごとの雇用調整、広域での一体的な情報発信など、自治体単独では難しい取り組みも、広域連携で進めることが大切だと呼びかけました。さらに

●国への要望と地域の姿勢

東京に集中する税収の偏りを是正することは国全体課題であり、同時に、地域自らも

若者や女性に「選ばれる」場所となる努力が欠かせないと結びました。

人口についても、月形町ではその維持や減少を少しでも抑えることが、大きな課題です。ひとつの方策で改善するものではなく、多面的な取り組みの必要性を改めて感じる講演でした。

議会は地域の「鏡」

―議員の多彩化に向けて―

講師



西南学院大学法学部教授
勢一 智子 氏

「若者は議員になりたいと思っているのか」冒頭、このフレーズで始まった講演でした。

り、その責任を担う議会は住民の姿を映す「鏡」であると述べました。ところが、現在の町村議会は男性や高齢の議員が中心で、女性や若い世代が少なく、住民全体の姿を十分に反映できていないとの指摘でした。それでは

●若者や女性の参画を広げるために

「議会に女性や若者が一人でもいればよいのではなく、複数の議員がいてこそ多様な意見を反映できる」と強調。高校生や大学生を対象とした模擬議会など、若い世代が議員

●議会の現状と課題

勢一氏は、人口減少と高齢化が進む社会では、限られた資源をどのように配分するかを判断することが重要であ

議員研修

空知町村議会議員研修会

ダイゼンの挑戦

過疎の地域でも……

講師



(株)ダイゼン社長
柴田 貢氏

地域課題の解決に向けた実践的な取り組みを学ぶ機会として、柴田社長とみずほ銀行地域活性化推進部の担当者による講演が行われました。

「効率的な店舗運営」や「2人で運営できるスーパー」など、ユニークな取り組みについてお話を伺いました。ダイゼンが展開する「DZマート」は、地域住民の「生活を守る小型スーパー」として注目を集めています。2010年に第1号店を開業して以来、北海道内で約30店舗を運営し、人口減少や過疎化が進む地域にも積極的に出店しています。店舗は徹底したローコスト運営が特徴で、商品数を厳選し、少人数でも効率的

に運営できる仕組みを導入。

これにより低価格を維持しながらも、地元に着した安定経営を実現しています。また、AIを活用した自動発注システムの導入など、効率化と働きやすさの両立にも取り組んでいます。

従業員が安心して働ける制度づくりや地域貢献活動の紹介もあり、町の商業や暮らしを守るヒントが多く含まれていました。

柴田社長は「地域の人々が安心して暮らせる環境をつくるのが企業の使命」と語り、買い物の場だけでなく、地域のつながりを生み出す拠点づくりを進めています。今後も、地域の暮らしを支える「生活インフラ」として、その存在感をさらに高めていくことが期待されています。

あわせて、みずほ銀行からは人口減少や産業構造の変化

の仕事を知る機会を増やすことが大切だと紹介しました。

また、委員会のオンライン出席を条例で整備するなど、子育てや介護を担う人でも活動しやすい環境づくりも必要だと述べました。さらに

●多様な視点で地域を支える議会へ

防災会議や審議会に女性が少ない現状を挙げ、家事・育児は女性が担うなどといった無意識の思い込みが若い女性を地域から遠ざけることもあ

るとして、「困っている人に寄り添い、仕組みを改善する姿勢」アクティブ・バイスタンダー※発想」を議会に取り入れる重要性を説いていました。最後に

●次世代に希望をつなぐために

地方自治法の改正で議会の役割が明確化された今こそ、議会基本条例などで「目指す議会の姿」を示し、次の世代が「自分も議員になりたい」と思える地域を築いていくことが大切だと結びました。

前の議員選挙で定数割れとなった私たち月形町議会にとって、示唆に富む講演でした。ちなみに大学での勢一氏のゼミの学生で、議員になりたいと言ったのは20年間で一人だったそうです。

を背景に、地域経済を支えるための金融のあり方が解説され、地元企業や自治体と連携し、資金提供にとどまらず経

営支援や新事業のマッチングを行う「地域共創型の金融支援」が紹介されました。

今回の研修を通じて、地域課題の解決には一つの組織だけでなく、「人と人」「組織と組織」がつながることの大切さを改めて学びました。私たち議員も、現場の声を受け止め、民間や金融機関とともに地域の未来を考える橋渡し役にならなければならないと感じました。

第9回

舞い降りて月形
住んで、見て、感じた月形は！



今回は、留学生として東京の大学で学ばれた後、ALTの赴任地にカナダと似た気候と広大な土地の北海道を希望されて、月形町へ来ることになったハンナさんです。

◎自身について教えてください。

▲カナダ・アルバータ州の小さな町で育ちました。町ではロデオ(※)が盛んで、牛や馬に乗った思い出があります。高校生までアイスホッケーをやっていました。

◎日本に興味を持ったきっかけは何ですか。

▲大学時代から海外で暮らしてみたいと思い、さまざまな国の文化を学びました。その中で特に日本文化に関心を持ち、留学を通して来日しました。東京や大阪で歌舞伎を観たこともあり、とても素晴らしい芸術だと感じました。

◎月形町でALTとして働くようになった経緯を教えてください。

▲留学中にコロナ禍になり、一度帰国しましたが、日本

に戻りたいという気持ちが強くなり、働ける仕事を探したところALTという道を見つけた。赴任先となった月形町が最初の勤務地です。北海道だったアイスホッケーもできるかなと思っていましたが・・・

◎お仕事の様子を教えてください。

▲主に町内の小学校と中学校で教えています。花の里子ども園にも月1回通っています。授業では日本人の英語の先生をサポートし、自分の経験や写真を紹介して、子どもたちに英語や海外文化への関心を持ってもらえるよう工夫しています。

◎月形の子どもの印象はいかがですか。

▲とても優しい子どもたちです。緊張していた私を、最初に温かく迎えてくれました。今では積極的に質問をしてくれるので嬉しいです。

◎月形での生活についてはどう

「インタビューを終えて」

幼少期から文武両道で育まれ、青年期には多くの異文化の国々を学ばれた。遠い島国日本の小さな町、月形に來られ、児童生徒にとつて、遠く広いカナダを、身近に感じさせてくれる人だと思いました。

うですか。

▲車がないので移動は大変なこともあります。不便さはあまり感じていません。友人と一緒に岩見沢や札幌へ出かけることもあります。夏祭りや盆踊りに参加して浴衣で踊ったり、金魚祭りや金魚すくい体験したりと、地域の行事も楽しんでいます。

◎月形で好きな食べ物はありますか。

▲やきとりボーイのジャンボ焼き鳥が一番好きです！

◎町民へのメッセージをお願いします。

▲月形町での4年間、本当にありがとうございました。多くの方と交流できて楽しい日々を送っています。任期の残り1年間もよろしくお願ひします。将来は、良い仕事があれば日本に住みたいという思いもあります。

※ロデオ：牛や馬に乗り、技を競う西部発祥の競技

広報特別委員会

委員長 松田 順一
副委員長 我妻 耕二
委員 若井 昭二
委員 滝口 伸

今年、道内の気温は過去最多の真夏日72日と夏日の130日が記録されました。また、米の価格も過去最高値をつけました。豊穣の秋を迎え、地方財政や地域経済が良好になることを願っています。(松田)

〒061-0592 北海道樺戸郡月形町1219番地
TEL (0126) 53-2321 FAX (0126) 53-4373
E-mail : gikai@town.tsukigata.hokkaido.jp